

三阪 佳弘

高等司法研究科・教授

【研究】

- 1) 三阪佳弘編著『「前段の司法」とその担い手をめぐる比較法史研究』(2019年3月、大阪大学出版会)を刊行した。本書は、研究代表者となって行ってきた科研費基盤(B)「近代市民社会における法的サービス需要充足の構造とその担い手に関する比較法史的研究」による共同研究の成果であり、〈大阪大学法史学研究叢書刊行プロジェクト〉の第1巻となる。
- 2) 今年度からスタートした基盤研究C「戦間・戦後改革期の裁判官制度の比較法史研究—キャリアシステムと職権の独立」(2018-21年度)の研究を順調に進めている。
- 3) 大阪における明治初期の代言人の具体的な活動を、民事判決原本DB等を通じて分析し、地域社会における法的サービスの需要の担い手の具体像を明らかにすることに着手した(2020年度夏期刊行予定の『熊谷開作先生生誕百周年記念論文集』(晃洋書房刊)への寄稿する)。

【教育】

- 1) 高等司法研究科「比較法史」、法学部「日本近代法史」「演習」「法政基礎セミナー」、法学研究科「日本法制史」「比較法史」を担当した。また、法学研究科前期課程1名の研究指導を担当した。
- 2) 学部生向けの日本法史教科書出版に向けて企画を進めている。

【管理運営】

- 1) 適塾記念センター長として、大阪大学史研究と建学の精神顕彰活動に貢献した。
- 2) 社会学共創本部執行部のメンバーとして、本学の社会学連携活動の推進活動に参画した。
- 3) 大阪大学アーカイブズ兼任教員として、アーカイブズの運営に関与して、公文書の保存管理公開という面での大阪大学の社会的活動に貢献した。
- 4) 高等司法研究科の教務委員会委員、評価室員として所管業務に貢献した。
- 6) 大阪大学法学会運営委員長として法学会活動に貢献した。

【社会貢献】

- 1) 適塾記念会幹事として、重要文化財適塾の保存活動と、研究活動に貢献した。
- 2) 大阪府労働委員会公益委員として、不当労働行為事件審査、あっせん等を通じて、労使間の紛争解決とその適正な関係構築への貢献を行った。
- 3) 大阪府公文書館運営懇談会委員としての社会貢献を行った。
- 4) 日本学術会議連携会員としての社会貢献を行った。
- 5) 法制史学会理事として学会活動に対する貢献を行った。